

## 福岡そして長崎に行ってきました

保健体育科教育学ゼミでは、2月24日から27日までの3泊4日の日程で、福岡県と長崎県へのフィールドワークを実施しました。この研修は、地域の歴史や文化を肌で感じるとともに、集団行動を通じて将来教育に携わる者としての規律を学ぶ大切な機会となりました。

### 1.歴史の地で「本物」に触れる（初日）

名古屋駅から新幹線で博多へ到着後、まずは太宰府天満宮を参拝しました。現地では、菅原道真公や太宰府の歴史について松本禰宜様より専門的な解説をいただき、教科書だけでは得られない深い学びを得ることができました。また、この行程には本学の神道学科卒業生であり、剣道部OBでもある中原先輩が同行してくださいました。身近なロールモデルである先輩との交流は、学生たちにとっても大きな刺激となったようです。

### 2.自主性と平和への祈り（2日目）

長崎市内では、路面電車の1日乗車券（600円）を活用したグループ別自由行動を行いました。

- ・爆弾落下地碑や平和公園での平和学習
- ・グラバー園や中華街での文化探究
- ・長崎市役所展望ラウンジからの市内一望

学生たちは自分たちで計画を立て、効率よく市内を巡りました。また、夜には日本三大夜景、世界新三代夜景に再認定された稲佐山を訪れ、その美しい景色を全員で堪能しました。

### 3.都市の発展と仲間との交流（3日目・最終日）

3日目は再び福岡へ戻り、福岡タワーから博多の街並みや百道浜（ももちはま）の景観を楽しみました。夕食は全員で中華料理を囲み、これまでの研修を振り返りながら親睦を深める楽しいひと時となりました。

最終日は、天神や博多駅で地域の特産品を手に取り、一路名古屋への帰路に就きました。

今回の旅は団体チケットの条件下での実施でしたが、学生たちは最後まで時間を厳守し、責任ある行動を見せてくれました。時間や約束を守るという当たり前のことを積み重ね、その上で旅を心から楽しむ——そんな当たり前を大切にできる学生たちの姿に、安心して同行することができました。

